

(様式第7号)

### 地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和 5年 6月 7日

作成者： 長坂喜孝

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

\*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
野いちごコーラス	
事業名	日時(期間)、場所
「メモリアルコンサート」開催	令和4年4月29日(祝) 芦屋ルナ・ホール
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
令和2年3月に合唱団創立10周年記念演奏会を計画していたところ、新型コロナウイルスの流行のために直前で中止のやむなきに至りましたが、漸く昨年4月実施できる状況となり、コロナ禍からの再生を祈念して「メモリアルコンサート」を開催いたしました。 構成は、①「野いちご」愛唱のうたから ②海に寄せて ③趣を変えて ④コロナ禍から再生の願いを込めて の4ステージで、来場者に十分楽しんでもらえるように合唱、ソロ、カルテットなど編成に工夫を凝らし、全25曲の演奏を行いました。	( 430 ) 人
	参加者数
	( 34 ) 人
成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
コロナ禍の中で、感染流行の合間を縫って練習の中断、再開を繰り返しながら演奏会に向けて準備を行なってきましたが、この間、高齢者が多い当会からの退会者は僅か数名程度で、コンサートに向けての練習が各人の気分転換や健康管理の面で役立ったのではと思います。 演奏会当日は、生憎風雨の強い悪天候でしたが、430名と思いのほか多くの来場者があり、「曲の構成が良かった」「楽しんでいる間に2時間があっという間に過ぎた」など多くの方から好評価を頂き、演奏会終了後、新たに5名の方が当合唱団に入会されるという嬉しい事柄にも結びついております。	
今後の展望(どのように継続、発展するか)	
合唱は、心身の健康増進面で効果があると云われていますが、合唱仲間との交流や、演奏会、施設などへのボランティア訪問など、巡り会う社会の様々な人達の人生を、合唱活動を通じて少しでも豊かにすることが出来ればと思っております。 演奏会を終えて一段落となり、新しい曲の練習に取り組んでいるところですが、コロナ禍も終息の方向にありますので、芦屋合唱祭、芦屋川カレッジ学友会音楽祭などに出演のほか、施設などへのボランティア訪問などを行なって参りたいと考えております。	